

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	7	普通は学習スペースと活動スペースを分けてはいますが、活動内容によっては活動スペースと学習スペースを合わせて広いスペースを作ることで対応しております。また、その都度職員の意見を聞きながら対応していると考えております。部屋の間仕切りを確保するために柵などで仕切りを作っております。		
	2	職員の配置数は適切である	7	職員配置人数は足りていますが、言語聴覚士や作業療法士、保育士があと一人でもいけると業務がさらに円滑に進むとともに専門職からのアドバイスによる療育の幅も広がると考えております。しかし、現在でも児童発達管理責任者、児童指導員、保育士、専門職などの有資格者の配置をしております。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	玄関外に小さな階段がありますが、職員見守りのもと昇降を行っております。また、事業所の構造上手洗い場の高さが高いため踏み台を設置し対応しております。	現時点で改善の必要はございませんが、怪我がないように十分に気をつけてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	7	朝礼の際に必要な伝達事項を共有しております。その中に目標や振り返りも行っております。申し送りノートを活用することで過去の伝達事項が確認できたり、その日休みだった職員が後日、確認できるように工夫しております。		
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	保護者様のご意見、それに対する対策を書面、口頭で周知し職員一人ひとりが意識をし業務改善につなげております。		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Webサイト等で公開している	7	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	コロナウイルス感染予防のため外部研修は控えておりましたが、社内研修には全職員が参加し理解を深め業務の資質、知識の向上に努めております。	社内研修のみならず、外部研修にも積極的に参加を行い、職員の資質の向上に努めてまいります。	
	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	保護者様との面談をもとにアセスメントを行っております。また、アセスメントに加え遊びや運動を通して評価を行い支援計画を作成しております。		
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	標準化されたアセスメントツールを使用し、状況把握や課題の抽出を行い支援の向上に努めております。		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	職員で話し合いを行い、さまざまな職種の視点からの活動を提供できるようにプログラム立案を行っております。		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	限られた空間や道具を使用するため固定化にならないように気を付けてプログラム立案を行っております。また、同じ活動でも内容を変更して提供しております。		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	平日には遊ぶ時間、活動の時間を設定し、時間を見て行動していただくように努めております。長期休暇には目的をもってイベントを行っております。		
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	児童の利用状況や保護者様のニーズに合わせて、集団活動や個別活動どちらが必要でどちらが適しているのかを考えて支援計画を作成しております。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	毎朝、申し送りを行っており児童のことで気づきや課題の情報共有を行い、学習担当や送迎担当など役割の確認もしております。		
	16	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	毎朝、申し送りを行っており児童のことで気づきや課題の情報共有を行い、学習担当や送迎担当など役割の確認もしております。		
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	日々の支援の中で気付いたことや気になること等は個人経過記録に記録し、翌日の朝礼で情報の共有を行っております。さらに、情報共有時に改善策等も話し合い日々の支援の向上に努めております。		
関係機関や保護者様との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	定期的にモニタリングを行い、目標達成の有無や変更の有無の見直しを行っております。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	保護者様のご意見を基にガイドラインに沿って、利用児童に合わせた支援をおこなっております。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参加している	7	基本的には児童発達支援管理責任者が参加を行っていますが、契約したばかりの児童などの場合は児童発達支援管理責任者に加え職員も参加し、より多くの情報を共有できるように行っております。	これからも全職員の意見を聞き、より正確に多くの情報を共有し、支援の改善に努めてまいります。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	連絡帳や電話、送迎時などに保護者様と連絡を取り調整を行っております。また、不明な点等ありましたら学校にも連絡を行いトラブル等がないように努めております。		
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている	7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	保護者様のニーズを基に相談支援事業所との情報共有を行い相互理解に努めております。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	現在は対象の児童が在籍しておりません。	今後対象の児童がいましたら、保護者様のご了承のもと情報提供を行ってまいります。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	新型コロナウイルス等の感染予防から研修は行っておりませんが、必要に応じて電話にて情報の共有を行っております。	感染症の様子を見ながら研修への参加は今後の課題と思っております。しかし、引き続き必要に応じて電話での情報の共有は行っていきたいと考えております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	7	現時点では外部との交流機会はありませんでした。	新型コロナウイルスのみならずインフルエンザ等の感染症が流行しているため保護者様の意見も考慮し要検討してまいります。	
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	現時点では機会はありませんでした。	新型コロナウイルスのみならずインフルエンザ等の感染症が流行しているため保護者様の意見も考慮し要検討してまいります。	
保護者様への説明責任等	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている	7	日頃から連絡帳にて情報の交換や送迎時に状況をお伝えし、課題等の共通理解に努めております。		
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	3	保護者様からご相談を受けた際には、職員間で情報の共有を行い解決策を考え保護者様にお伝えしております。	引き続き、職員間での情報共有を行い、より良い解決策のご提案ができるように努めてまいります。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	契約時にわかりやすいように説明しております。また、ご不明な点がございましたら、いつでもご連絡していただくようご案内させていただきます。		
	31	保護者様からの子育てでの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	連絡帳や送迎の際にご相談をお聞きし対応・アドバイスをしております。また、難しい相談は一度事業所で話し合った後、再度お伝えしております。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	7	感染予防の為に控えさせていただいております。	新型コロナウイルスのみならずインフルエンザ等の感染症が流行しているため保護者様の意見も考慮し要検討してまいります。	
	33	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者様に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	保護者様からのご相談等は迅速かつ丁寧にご対応させていただきます。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	7	必要に応じ会報を発行し保護者様には周知しております。また、毎月の事業所カレンダー等で活動の様子をお伝えしております。		
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	7	ご来客者様との会話の中では個人情報に十分注意しながらお話ししております。また、個人情報や書類等は鍵付きの書庫で保管しております。		
	36	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	視覚的情報に加え口頭での説明を行い、より情報が伝わりやすいように考え伝達しております。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	個人情報の保護や感染予防の為に控えさせていただきます。	保護者様のご意見やさまざまな視点から課題を解決し要検討してまいります。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	各対応マニュアルを策定し事業所内に設置しております。また、定期的にさまざまなパターンを想定した訓練を実施しております。訓練後は職員間で反省会をおこない、いつでも動けるように努めております。		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	定期的に非常災害の訓練を行っております。また、行った訓練に対し改善点や改善策を話し合い非常災害時にスムーズに実施できるように努めております。		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	事業所内にて定期的にマニュアルに沿って研修を行っております。研修を基に適切な対応をするように日々努めております。		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ずおこなう場合は、保護者様の同意を得るようにしております。		
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づき対応がされている	2	5	全児童のアレルギーの有無を確認しアレルギーがある児童に対しては、どのようなアレルギーなのかを全職員で共有しております。	全児童の有無は確認し共有をしておりますが、現時点で医師の指示書をするまでのアレルギーのある児童がおりませんので、今後対象児童がご利用される場合は医師との連携を図ってまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	ヒヤリハットがあった際には、記録を行い原因追及や改善策を考え全職員に周知しております。	ヒヤリハットがあった際には、記録を行っておりますが、今後発生した際でもヒヤリハットとして記録を行い利用児童が安全に楽しく過ごせるよう努めてまいります。